

政策体系	政策No.	5	政策名	たすけあい支えあうまちづくり			施策主管課	保健福祉政策課		
	施策No.	2	施策名	こころと身体 の健康づくりの推進	重点施策		施策主管課長名	田上 哲夫		
施策関係課名	保険年金課、子育て支援課、長寿・障害福祉課、健康増進課、保健体育課、生涯学習課									
1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針										
<p>■「健康きりしま21(第2次)」及び「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、市民が健康で生きがいのある生活を送ることができるように、市民と行政が一体となった取組を行い、個人及び地域での健康づくり活動を推進する。</p> <p>■市民の健康意識の向上と健康づくり活動の実践により、健康の保持増進、疾病の予防・早期発見・早期治療・重症化防止を図る。</p>										
2 施策の目的と成果把握										
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民								
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	人口	人	見込み値	129,368	128,362	128,861	129,360	129,679	130,000	
			実績値	127,475	127,283	126,773	126,962	125,447		
B			見込み値							
			実績値							
C			見込み値							
			実績値							
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		こころと身体が健康になる								
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)								
		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
A	心身共に健康であると感じている市民の割合	%	成り行き値	67.1	66.9	66.7	66.5	66.3	66.1	
			目標値	69.5	69.5	70.7	71.9	73.1	74.3	
			実績値	64.8	64.8	66.3	67.4	68.3		
			達成率	93%	93%	94%	94%	93%		
			結果	△	△	△	△	△		
B	日頃から何か健康管理を行っている市民の割合	%	成り行き値	90.4	92.7	92.5	92.3	92.1	91.9	
			目標値	94.3	91.9	92.3	92.7	93.1	93.6	
			実績値	91.0	89.9	89.4	88.0	88.1		
			達成率	97%	98%	97%	95%	95%		
			結果	○	○	○	○	○		
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方						
A 心身共に健康であると感じている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査				A 「心身共に健康であると感じている市民の割合」については、市民意識調査で「心身ともに健康であると感じている」と回答した市民の割合が平成21年度から平成23年度までの間に年平均約1.2ポイントずつ増加しており、今後も健康霧島21(第2次)等に基づき各種事業を実施することから、同程度で推移すると見込まれるため、74.3%を目標値とする。						
B 日頃から何か健康管理を行っている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査				B 「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」については、市民意識調査で「自分の健康のために、何か心がけていることがある」と回答した市民の割合が、平成19年度から平成23年度までほぼ同率で推移していることを踏まえ、疾病の早期発見や予防、生活習慣の改善など健康増進の取組の重要性に照らし、健康意識が最も高かった40歳代の93.6%を目標値とする。						
				C						
				D						
				E						
				F						

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 若い頃から、生活習慣病予防や健康づくりについて理解してもらう必要がある。
- 心の健康づくり施策(自殺予防対策等)については、地域ぐるみで取り組む必要がある。
- 医療費の抑制につながるような健康づくりを推進する必要がある。
- 健康生きがいづくり推進モデル事業の継続的な取組や健康講座の充実を図るとともに、地域での健康づくり環境を整備し、市民が健康づくりに積極的に取り組むことができるように支援する必要がある。
- 事業所等が行っている健康づくり活動については、「健康きりしま21(第2次)」等の策定作業において現状把握を行い、連携した活動を展開していく必要がある。
- 「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、家庭・地域・事業所・学校等のあらゆる場で食育推進を図るため、関係機関、NPO団体等と連携していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> ■市 <ul style="list-style-type: none"> ・市の健康増進計画「健康きりしま21(第2次)」に基づき、各種保健事業の実施や、健康増進関連団体等との連携を図り、主体的な市民の参加を進めるための環境整備に努める。 ■県 <ul style="list-style-type: none"> ・県の健康増進計画「健康かごしま21」に基づき、市町村、健康増進関連団体と連携を図り、健康づくりを推進する。 ■国 <ul style="list-style-type: none"> ・国の健康増進計画「健康日本21」の基本理念、基本方針を示し、地方公共団体等と連携を図り、普及啓発、計画の評価、見直し等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域において健康な生活習慣を身につけ、疾病の予防や早期発見、健康増進に努め、生涯にわたって自分の健康管理を行う。 ■保育園、幼稚園、小・中・高等学校 <ul style="list-style-type: none"> ・行政や健康増進関連団体と協働しながら幼少期からの食育等の推進など生活習慣病の予防に努める。 ■事業所 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の労働安全衛生管理体制を整え、従業員の健診や健康教育を実施し、生活習慣病などの予防に努める。 ■地域・健康増進関連団体 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康づくり活動を推進するために、行政と連携し住民の健康づくりを支援する。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 更に高齢化が進むことから、生活習慣病の増加や重症化等により医療費の増大が予想される。霧島市においても、がんや脳血管疾患、心臓疾患等による死亡が増加している。また、外来の医療費の多くを占める人工透析は増加傾向であり、その誘因である糖尿病や高血圧症の増加がみられる。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 歯科保健事業について、フッ化物洗口事業や歯周病予防の事業充実を今後も図ってほしい。
- 保健センターなどでのがん検診を受診できない身体が不自由な市民から、「医療機関での個別検診を受けられるようにしてほしい。」との声があがっている。

5 施策の現状

① 平成28年度施策の取組方針

- 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。
- 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。
- 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。
- 地域で健康づくりを日常的に推進できる事業の検討を関係課と行う。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 感染症の蔓延予防のため、予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。
- 歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努める。
- 健康づくりの意識啓発のために実施している健康マイレージ事業の事業内容について検討を行う。
- 健康きりしま21(第3次)の策定に向けた基礎調査を実施する。

② 平成28年度施策の取組方針の達成状況

- 各種健(検)診や出前講座等で、健康教育・健康相談を実施し、市民の健康への関心向上に努めた。
- 自殺対策を絡めた講演会等を開催した。また、心の健康相談を実施し、市民の個別相談に対応した。
- 特定健診未受診者を訪問して受診勧奨を行った。また、特定保健指導の対象者への訪問や夜間・休日にも保健指導を実施することで、実施率向上に努めた。
- 地域での健康生きがいづくり推進について関係課等と協議した。
- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進した。
- 市報等で予防接種の周知を図り、未接種者へ個別通知をすることで接種率向上に努めた。
- 歯の健康について、FMきりしまや市報で歯周病検診の周知を行った。
- 健康マイレージ事業は、健(検)診の受診率向上につながるように検討した。
- 健康きりしま21(第3次)の策定に向け、アンケート内容の検討など事前準備を行った。

③ 平成28年度施策の目標値と実績値の比較		④ 平成28年度施策の成果指標の達成状況及び要因		
目標達成 ◎ 105%以上 目標をほぼ達成 ○ 95%～105%未満 目標を未達成 △ 95%未満		A:「心身共に健康であると感じている市民の割合」は0.9ポイント上昇した。40～59歳、70歳以上で健康であると思わない割合が多い。 B:「日頃から何か健康管理を行っている市民の割合」は0.1ポイント増加し目標をほぼ達成した。		
平成28年度成果指標				
	目標値	実績値	達成率	結果
A	73.1	68.3	93.0	△
B	93.1	88.1	95.0%	○
C				
D				
E				
F				
⑤ 基本事業の目標達成度 (平成28年度目標と実績との比較)		○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成		
		① 市民の健康意識の向上	×	⑤
		② 心と身体の健康管理の実践・支援		⑥
		③ 健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	△	⑦
		④ 食育の推進	△	⑧

6 平成29年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)	7 平成30年度に向けた施策の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> ■ 疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。 ■ 自殺予防対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。 ■ 生活習慣病予防のため、特定健診等の受診率・特定保健指導の実施率の向上及び疾病の重症化予防に取り組み、医療費の抑制につなげる。 ■ 地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。 ■ 感染症の蔓延予防のため、予防接種についての普及啓発を行い、定期予防接種の接種率の向上に努める。 ■ 歯の健康に関する知識の普及を図り、むし歯予防や歯周疾患予防に努める。 ■ 健康づくりの意識啓発に取り組む。 ■ 健康さきしま21(第3次)の計画策定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康さきしま21(第3次)の周知を図る。 ■ 健康さきしま21(第3次)に沿って事業を実施する。

基本事業No.	5-2-1	基本事業名	市民の健康意識の向上	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）
 ■本市の健康づくり推進の基本的な方向性を定めた「健康きりしま21（第2次）」を推進し、市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌による継続的な情報提供に努める。

②対象	市民	③意図	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける
-----	----	-----	----------------------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	21.0	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
				目標値	30.0	19.5	19.9	20.3	20.7	21.1
				実績値	20.5	21.3	19.3	19.5	18.7	
				達成率	68%	109%	97%	96%	90%	
				結果	△	◎	○	○	△	

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 栄養、運動、休養を心がけている市民の割合は、平成23年度の実績値19.1%を基準として、毎年度0.4%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を21.1%と設定した。

4 平成28年度基本事業の取組方針 | **5 平成28年度基本事業の取組方針の達成状況**

市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。 健康づくりの意識啓発のために実施している健康マイレージ事業の事業内容について検討を行う。	■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、医師・気象予報士による「熱中症対策」や、医師・認定看護師等による「がんとのつき合い方」についての市民健康講座を実施した。また、毎月の広報誌で健康情報について情報発信した。 ■健康づくりの意識啓発のために実施している健康マイレージ事業の事業内容について検討を行い、平成29年度から健診（検診）受診を必須とすることにした。
---	---

6 平成28年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A: 栄養・休養・運動を心がけている市民の割合は、18.7%で27年度と比較して0.8ポイント減少し、目標を達成できなかった。30歳～49歳の年代が低く、仕事や育児等で忙しいことが要因と考えられる。60歳以上は20～27%と高い状況であった。

7 平成29年度基本事業の取組方針 | **8 平成30年度に向けた基本事業の課題・方向性**

■本市の健康づくり推進の基本的な方向性を定めた「霧島市健康増進計画（第3次）」を策定する。 ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。	■「霧島市健康増進計画（第3次）」の周知を図る。 ■市民の健康意識の向上や知識の普及のため、市民健康講座や広報誌等による継続的な情報提供に努める。
---	--

基本事業No.	5-2-2	基本事業名	ころと身体の健康管理の実践・支援	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
■疾病の早期発見を目的とした各種健康診査やメタボリック症候群の予防など、各年代層に応じた保健事業を実施する。また、自殺対策や心の健康相談を実施し、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。 ■感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。	
②対象	市民
③意図	ころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	健診を受診した市民の割合	%	健診実績 ※特定健診(法定報告より)	成り行き値	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0
				目標値	65.0	49.6	52.2	54.8	57.4	60.0
				実績値	46.7	48.4	48.6	48.7	調査中	
				達成率	72%	98%	93%	89%		
				結果	△	○	△	△		
B	ころの持ち方に気をつけている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	44.5	44.1	44.1	44.1	44.1	44.1
				目標値	52.0	44.8	45.5	46.2	46.9	47.8
				実績値	42.2	43.8	43.9	39.0	40.6	
				達成率	81%	98%	96%	84%	87%	
				結果	△	○	○	△	△	
C	予防接種率	%	予防接種実績 ※三種・四種混合、二種混合、麻しん・風しん混合(1期・2期)	成り行き値	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
				目標値	84.0	86.2	88.4	90.6	92.8	95.0
				実績値	77.5	84.1	84.8	87.7	94.3	
				達成率	92%	98%	96%	97%	102%	
				結果	△	○	○	○	○	
D	*成果指標のBとCは、平成21年度から設定した。			成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 健診を受診した市民の割合は、国の第2期特定健康診査の実施計画に基づき平成29年度の目標値を60%と設定し、平成24年度以降、年2.6%ずつの成果向上を図ることとした。成り行き値は、直近3年の伸び率(1.5%)を勘案して平成24年度を47%と見込み、後年度は同率で推移すると推測した。	B ころの持ち方に気をつけている市民の割合は、平成23年度の市民意識調査の結果、年代区分で最も割合が高かった65歳～69歳代の47.8%を目標値として設定した。若い年代のころの健康づくり支援を取り組むことで改善を図る。	C 予防接種率は、感染を防ぐには95%の接種率が必要であるという国の目標値に合わせて、平成29年度の目標値を95.0%と設定し、感染症の蔓延予防のために子どもの定期予防接種の未接種者に接種勧奨を行うことなどにより、毎年度2.2%ずつの伸びを見込んだ。
---	---	---

4 平成28年度基本事業の取組方針 **5 平成28年度基本事業の取組方針の達成状況**

■疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。 ■心の健康相談や講演会の開催などの自殺予防対策に取り組み、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。 ■感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。	■各種健(検)診やメタボリック症候群の予防等の保健事業に取り組んだ。また、保健所主体の始良伊佐地区でのCKD(慢性腎臓病)予防ネットワークの準備に取り組んだ。 ■広報誌への掲載やころの健康づくり講演会、自殺対策関係者研修会等を実施した。また、心の健康相談から関係機関へ繋ぐなど、必要な支援を行った。 ■予防接種の接種率向上のため、未接種者への個別通知や市報等での広報に努めた。
--	--

6 平成28年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A:実績が判明後に記載 B:「ころの持ち方に気をつけている市民の割合」:27年度より1.6ポイント上昇したが目標を達成しなかった。女性の方が気をつけている割合が高く、50歳以上が高い傾向であった。講演会参加者も女性が多いため、男性への働きかけが不足していることも要因と考えられる。 C:予防接種率:平成27年度より6.6ポイント上昇し目標をほぼ達成した。個別の受診勧奨や市報等での周知が要因と考えられる。
--

7 平成29年度基本事業の取組方針 **8 平成30年度に向けた基本事業の課題・方向性**

■疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。また、女性がん検診を完全予約制にし、受診しやすい環境を整え、受診率の向上に努める。 ■平成29年度から始まったCKD予防ネットワークを生かし、早期に糖尿病患者を発見し、重症化予防に取り組む。 ■心の健康相談や講演会の開催などの自殺予防対策に取り組み、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるように支援する。 ■感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。	■疾病の早期発見を目的とした各種健(検)診の実施やメタボリック症候群の予防等、保健事業を実施する。 ■心の健康相談や講演会の開催などの自殺予防対策に取り組み、心身ともに健康で生きがいをもった生活を送ることができるように支援する。 ■感染症の蔓延予防のため、予防接種率の向上に努める。
--	---

基本事業No.	5-2-3	基本事業名	健康づくり活動がしやすい社会環境づくり	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	---------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> ■健康づくり活動を行うボランティアやNPO団体等の活動を支援し、互いに連携を図りながら、市民参画による健康づくりを推進する。 ■公民館講座などを充実し、健康生きがいがづくりを支援する。 ■市民が楽しみながら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。 					
②対象	・市民、保健医療機関、地域・家庭、事業所、ボランティア団体、教育関係機関など		③意図	健康づくりに取り組みやすい環境が整う	

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)		△目標を未達成(95%未満)			
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A 社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	4.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2
			目標値	6.0	16.2	17.2	18.2	19.2	20.0
			実績値	12.6	14.9	11.7	10.2	10.3	
			達成率	210%	92%	68%	56%	54%	
			結果	◎	△	△	△	△	
B 健康生きがいがづくり推進モデル事業に取り組んでいる地区自治公民館の数	地区	健康生きがいがづくり推進モデル事業の実績	成り行き値	67.0	71.0	82.0	57.0	36.0	71.0
			目標値	82.0	89.0	82.0	57.0	36.0	18.0
			実績値	70.0	89.0	82.0	57.0	36.0	
			達成率	85%	100%	100%	100%	100%	
			結果	△	○	○	○	○	

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠	
<p>A「社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合」は、徐々に増加しており、平成29年度の目標値は今後も増加傾向にあると見込み、市民意識調査の年代区分のうち65歳～69歳の20.0%を目標値として設定した。</p> <p>B「健康生きがいがづくり推進モデル事業」は、地区自治公民館を実施主体とし、5年を計画期間として取組を進めている。このことから、すべての地区が5年間取り組むよう各年度対象地区数を目標値として設定した。</p>	

4 平成28年度基本事業の取組方針	5 平成28年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行う健康運動普及推進員や食生活改善推進員等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら地域ぐるみの健康づくりができるよう、健康生きがいがづくり事業等を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康運動普及推進員・食生活改善推進員等の円滑な活動を支援することで、市民の健康づくりを推進した。 ■健康生きがいがづくり推進モデル事業の1地区あたりの実施回数は、27年度の9.2回から9.6回へ増加した。

6 平成28年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<p>A「社会福祉、健康づくりの地域活動に参加している市民の割合」:27年度より0.1ポイント増加したが、目標は達成できなかった。女性の割合が減少したことが要因の一つと考えられる。</p> <p>B:「健康生きがいがづくり推進モデル事業に取り組んでいる地区自治公民館の数」:目標をほぼ達成した。モデル事業の5年間を終了していない36地区自治公民館で実施された。</p>

7 平成29年度基本事業の取組方針	8 平成30年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行う健康運動普及推進員や食生活改善推進員等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら、地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民参画による健康づくりを推進するため、健康づくり活動を行う健康運動普及推進員や食生活改善推進員等の活動を支援する。 ■市民が住み慣れた地域で触れ合いながら、地域ぐるみの健康づくりができるよう支援する。

基本事業No.	5-2-4	基本事業名	食育の推進	基本事業 主担当課	健康増進課
---------	-------	-------	-------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> ■「霧島市食育推進計画(第2次)」に基づき、家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。 ■食生活改善推進員の活動を推進するとともに、学校、生産者、NPO団体等との連携を図る。 	
②対象	市民
③意図	正しい食生活の意識を持ち実践することができる

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	朝食を毎日摂っている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	78.8	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6
				目標値	85.0	84.2	84.4	84.6	84.8	85.0
				実績値	85.6	84.8	83.9	81.6	83.0	
				達成率	101%	101%	99%	96%	98%	
				結果	○	○	○	○	○	
B	地域や職域で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	30.1	33.2	33.2	33.2	33.2	33.2
				目標値	34.0	34.8	35.6	36.4	37.2	38.0
				実績値	35.4	35.2	34.5	30.6	31.9	
				達成率	104%	101%	97%	84%	86%	
				結果	○	○	○	△	△	

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 朝食を摂っている市民の割合は、平成24年度の実績値を84.0%と推測し、これを基準に毎年度0.2%ずつ増加すると見込んで、最終年度の目標値を85.0%とした。成り行き値は平成23年度の実績値で推移すると想定した。

B 学習の場に参加した市民の割合は、平成23年度の実績値を基準に、平成23年度までの過去5年間の年平均伸び率が0.8%であったことから、今後も毎年度0.8%ずつ増加していくと見込み、平成29年度の目標値を38.0%と設定した。成り行き値は平成23年度の実績値とした。

4 平成28年度基本事業の取組方針

- 家庭、地域、事業所、学校等のあらゆる場で、各年代に応じた食育を推進する。
- 欠食のない規則正しい食生活(早寝・早起き・朝ごはん)の推進を年間目標として、各関係団体と連携して取り組む。
- 食生活改善推進員の増員を図り、各地域の活動を活性化させる。特に会員数の少ない地区の会員増に取り組む。
- 歯の健康に関する知識の普及を図る。

5 平成28年度基本事業の取組方針の達成状況

- 保育所食育支援事業を実施し、園児が自分で切った野菜を食べる体験等を通して、食への関心をもってもらった。また、市民健康講座での展示や試食、食育の日に合わせた食育イベント、出前講座による教育を実施した。健康福祉まつりや学校等で、食生活改善推進員が推進を図った。
- 学校を中心とした活動では、学校栄養士から児童生徒へ食に関する授業を行った。また、欠食のない規則正しい食生活(早寝・早起き・朝ごはん)リーフレットを作成し、イベントなどで配布し周知を図った。
- 食生活改善推進員養成講座を開催し、会員数の少ない地区の会員増に取り組んだ。
- 離乳食教室、母子健診、育児教室、育児相談、がん検診、出前講座等で、歯の健康教育・健康相談を実施し、知識の普及を図った。

6 平成28年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A:「朝食を毎日摂っている市民の割合」は、1.4ポイント増加し目標をほぼ達成した。

B:「地域や職域で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合」は、1.3ポイント増加したが目標は達成できなかった。

7 平成29年度基本事業の取組方針

- 霧島市食育推進計画(第3次)を策定する。
- 平成29年度の推進目標「食を通じたコミュニケーション豊かな食生活の推進」に合わせて事業内容を検討し、食育に関連した事業の参加人数を増やす。
- 歯の健康に関する知識の普及を図る。

8 平成30年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 「霧島市食育推進計画(第3次)」の周知を図る。
- 歯の健康に関する知識の普及を図る。